

# 誠愛薬局DIニュース 11月号



一口に『飲み薬』といっても、その効果も形も様々です。錠剤やカプセル、粉薬など多種多様なものがあり、飲み方もその形によってそれぞれ違います。今回は、当院でどのような種類のものが取り扱われているのかについて、お話します。

## ■ 錠剤

薬の成分を一定の形状に圧縮したり、下地となる粉と練り合わせて一定の形状にしたもの。効き目を持続させるためなどの目的で、外側に特殊なコーティングを施してあるものもある。

## ■ カプセル

薬の成分を液状、懸濁状、粉状、顆粒状などの形でカプセルに詰めるか、カプセル状の膜で覆ったもの。

## ■ 散剤

いわゆる粉薬。薬の成分にかさを増すなどのための添加剤を加えて、細かい粉末にしたもの。

## ■ 顆粒剤

薬の成分を粒状にしたもの。有効成分に添加剤を加えて、均一な大きさの粒に整えたもの。

## ■ 液剤

液状の飲み薬。薬の成分を液体へ溶かし込んだもの。

同じ成分のものであっても、特殊加工（例えば長く薬の効果を効かせるためにわざと少しずつ薬が吸収されるようにする加工等）されていなければ、液剤が最も早く効果を発揮します。次に粉薬、錠剤・カプセルの順です。

薬は、消化管（胃や腸）の中で壊れて、成分が溶け出すことで、効果を発揮するので、錠剤やカプセル剤では、溶け出すまでに時間がかかってしまうからです。

また、一部の特殊なコーティングをされた錠剤（例：アダラートCR錠、コンサータ錠）や、特殊な加工を施された顆粒（例：セレニカR顆粒）、カプセル剤（例：エブランチルカプセル）などでは、効き目が長い時間（12時間以上）続くように作られています。

このようなお薬は、**噛み砕いたり、すりつぶしたりすると、効き目の持続性がなくなるばかりか、お薬が急激に効きすぎるなどの不都合**が考えられます。

お薬は飲み方だけでなく、効き目なども綿密に考えられて設計されているものです。**用法用量は必ず守り、むやみに割ったり・噛み砕く・すりつぶすなどの飲み方はしないようにお願いします**（但し、医師の指示がある場合は、この限りではありません）。